

地域の教育情報化と大学の役割
～教育ネットワークにおける大学の地域貢献～

京都における ITを活用した 大学の地域教育貢献

岡部 寿男
(京都大学学術情報メディアセンター)
<http://www.okabe.biz>

2003年11月28日

CAUAシンポジウム2003京都

1

岡部寿男:自己紹介

• 略歴

- 1988年京都大学大学院工学研究科修士課程情報工学専攻修了
並列計算の理論
- 1988年京都大学工学部情報工学教室 助手
- 1994年京都大学大型計算機センター研究開発部 助教授
スーパーコンピュータ用基本ソフトウェア
- 1998年より京都大学大学院情報学研究科 助教授
並列・分散アルゴリズム 次々世代
- 2002年より京都大学学術情報メディアセンター教授 インターネット
ネットワーク研究部門

- 1989年より、工学部附属高度情報開発実験施設運用委員
- 1994年より、京都大学学術情報ネットワーク機構助教授(兼担)

学内ネットワーク運用担当者

岡部寿男：自己紹介(つづき)

- 履歴書には書けない経歴
 - 1985年、研究室へのUNIXマシンの導入の手伝い
 - 同年、教室内Ethernetの敷設、JUNETによる対外接続(電子メールおよびネットニュース)、学内内線電話によるUUCP接続、...
 - 1988年、WIDEプロジェクトによるインターネットへの接続(国内3番目)、BITNET接続
 - 同年、学内LAN KUINSの運用開始
 - トラブルの嵐
 - 1990年、KUINSユーザグループ創設、初代会長
 - 1994年以降、学内ネットワークの正式担当
 - 2002年より、学内ネットワークの責任者



概要

- 京都におけるIT活用の現況
- 京の街と教育
- アランKプロジェクト
- みあこネットで遊ぼう！プロジェクト



京都における ITインフラ関連プロジェクト

- **京都府**

- 京都デジタル疎水ネットワーク

<http://www.pref.kyoto.jp/sosui/index.html>

- 京都みらいネット(府内高校のネットワーク化)

- 地域と人をむすび育てるIT活用プラン

<http://www.pref.kyoto.jp/it-promo/ap/itplan.html>

- **京都市**

- Pnet・Inet (“市営”プロバイダ事業)

- 京都ONE(地域ネット+地域IX)

<http://www.kyoto-one.ad.jp>

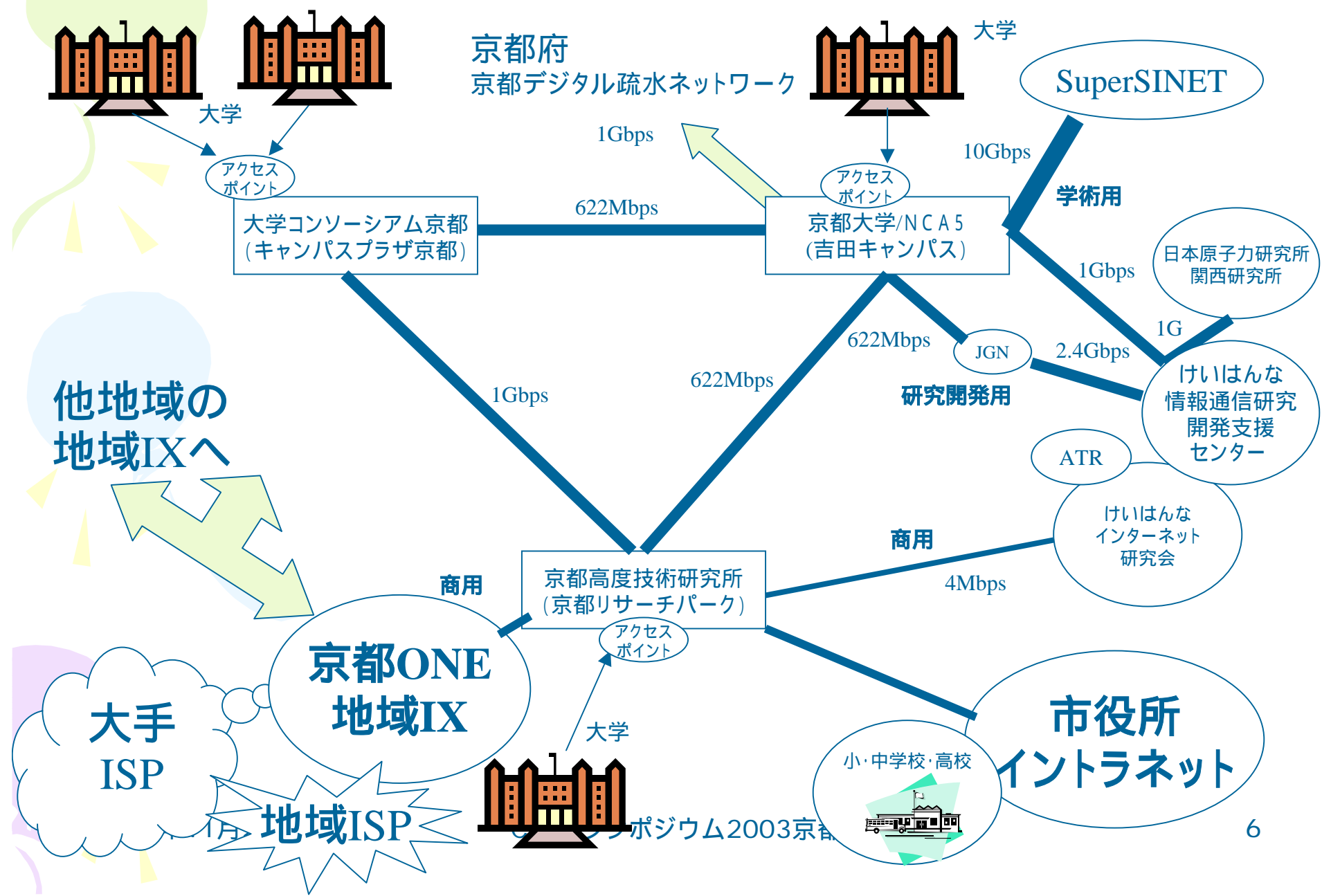
- 市立小中高のネットワーク化

- **学術系地域ネットワーク**

- 第五地区ネットワークコミュニティ NCA5

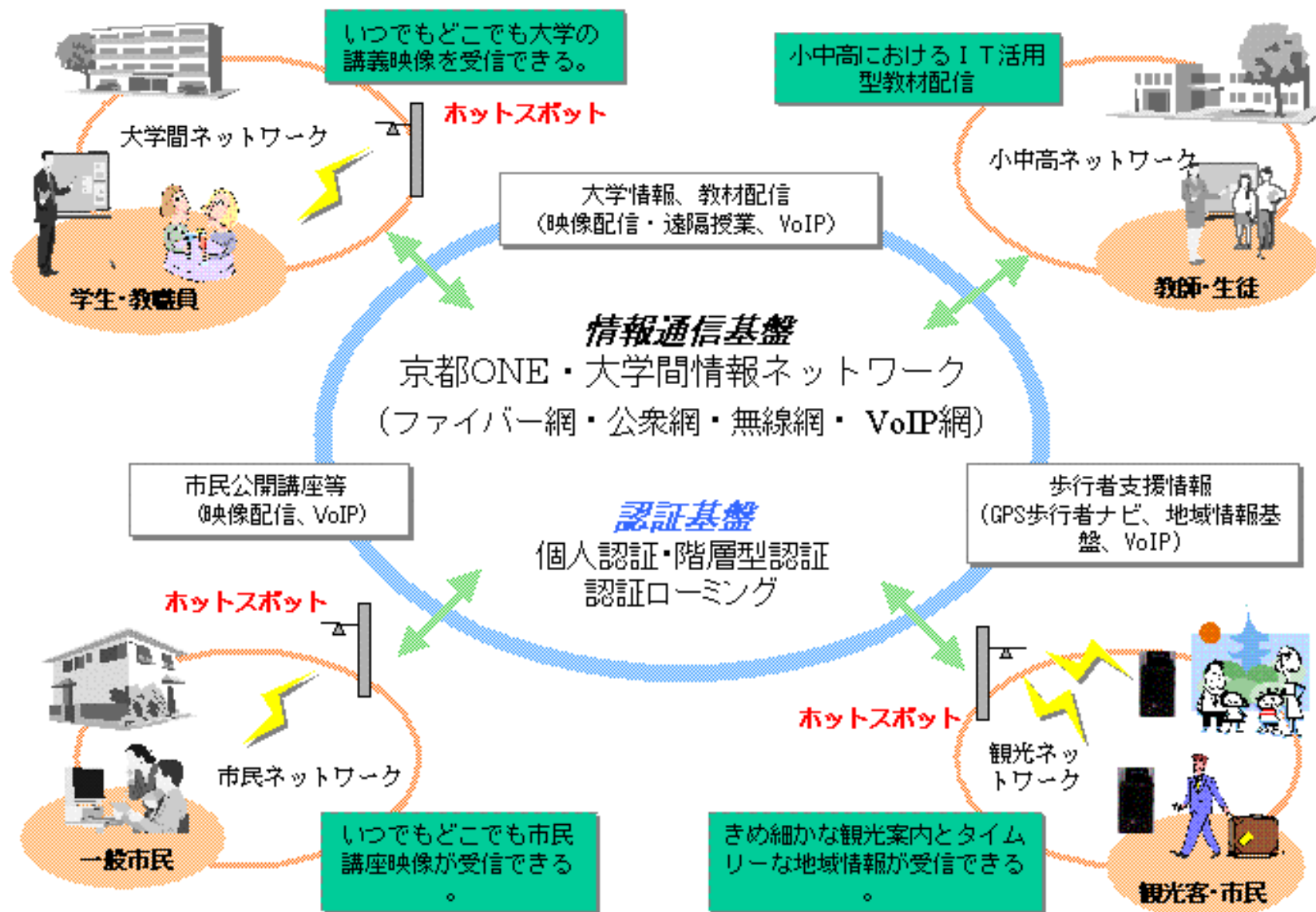
<http://www.nca5.ad.jp>

京都ONE 大学間情報ネットワーク



シンポジウム2003京都

経済産業省先進的情報通信技術の実証事業 (e! プロジェクト)
 「地域情報基盤におけるコンテンツ配信とピアツーピア環境の構築」



2003年11月28日

<http://www.astem.or.jp/proj/e-proj/>

ITを活用した 大学の地域への貢献の例

京都大学21世紀COE

「知識社会基盤構築のための情報学拠点形成」

(大学院情報学研究科・学術情報メディアセンター)

<http://www.i.coe21.kyoto-u.ac.jp>

- デジタルシティ京都「3D京都」

<http://www.digitalcity.gr.jp>

– 京都大学大学院情報学研究科社会情報学専攻 石田亨研究室

- 京都市バス運行情報案内「音声ポケロケ」

<http://www.lang.astem.or.jp/bus/>

– 京都大学学術情報メディアセンター 河原達也研究室

- ALAN-Kプロジェクト

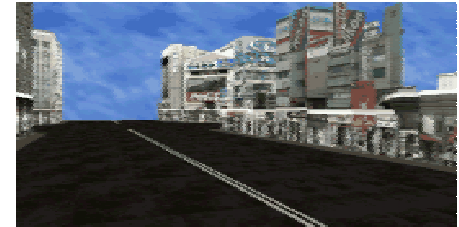
<http://www.edu.soc.i.kyoto-u.ac.jp/akp/>

– 京都大学大学院情報学研究科社会情報学専攻 上林弥彦研究室

- みあこネット

<http://www.miako.net>

– 京都大学学術情報メディアセンター 岡部寿男研究室



2003年11月28日

CAUAシンポジウム2003京都

京の町衆の教育への想い ~ 130年前の常識

130年前、京都では、たった1年間で、64もの小学校が一挙にできている。これは、明治政府の動きより早く、明治5年学校令制定の発布より3年前の1869年(明治2年)のことである。

これらのこの小学校は京都の町衆が、官の補助金を一切もらわず、競い合って、自分達でつくったものである。

今、自分達ではつくりたくないものを、130年前、自分達でつくるのが当たり前、それが常識だった。

小学校会社

さらに、驚くことに、教員の給与など維持運営経費を捻出するために、町衆が出資して「小学校会社」も設立している。

この会社は、預金、貸付を行う金融会社で利潤を学校の運営にあてている非営利の会社である。

時代の背景

当時京都は、東京遷都で人口35万の都市から25万人へ激減という、恐怖と不安が支配する危機的状況の中で、町衆は、町の将来を、子弟教育にかけた。

各教室御巡覽生徒ノ學業ヲ叙覽アラセ給ヒ太政大臣三條實美公ハ特ニ大額ニ樂捐于勤明治十年六月廿八日皇上親臨于初音學館授校需額字卽書此以附之太政大臣三條實美トアリ實ニ名譽ト謂フヘシ明治廿四年十一月三日特ニ 兩陛下御眞影ヲ御下賜アリ是ハ本校ニ御臨幸アリシニコレリ女紅馬ハ明治六年卒先シテ之ヲ開ラキ佛蘭西大博覽會京都博覽會ニ於テ製作品ノ賞狀ヲ受ケタリ

柳池尋常小學校 上京第二十五學區

學區ハ明治元年區畫セラレシヨリ變革ナクシテ以テ今日ニ至レテ東ハ寺町通西ハ柳馬場通北ハ二條通南ハ三條通ニシテ區内ニ天性寺前町下本能寺前町上本能寺前町妙滿寺前町丁子屋町下白山町中白山町上白山町尾張町橋町油屋町柳八幡町虎石町晴明町丸屋町大文字町龜屋町山本町御池大東町姉大東町福長町松平町守山町依屋町東八幡町菊屋町等持寺町ノ廿七ヶ町アリ戸口ノ數ハ創立ノ際トテ詳ナラス本學區ハ卽教育興進ノ最初ニシテ實ニ斯道ノ魁也明治元年本市組合

ヲ改メ興學ノ事アツントスルヤ組内熊谷直孝中年寄タリ專ラ力ヲ其事ニ盡シ東洞院姉小路上ル所ニ種痘館有信堂ヲ設ケ之ヲ學舎トシ自費又有志金ヲ以テ之カ費用ニ充テ小林卓齋ヲ聘シ毎月六日組内少年ヲ集メ小學三字經論語日本外史等ノ講筵ヲ開キタリ是レ本校ノ藍圖ニシテ小學教育ノ嚆矢ナリ同年十二月本府ハ興學ノ令ヲ發シ圖案ヲ示シ且建築費一組凡八百圓ヲ下附セラル、ヤ本組ハ各自奮勵シ官ノ補助ヲ受ケテ組内有志金ヲ以テ富小路御池片山町ニ新築シ同二年三月十三日上棟式ヲ行ヒ同五月廿一日開校式ヲ舉ク府知事以下親臨其式甚盛シナリ上京第廿七校ト稱ス是本市小學校ノ最初ニシテ日本全國ノ未ダ有ラザル所ナリ六月十六日ニ至リ始業セリ本校ハ上京ニ於テ第一ニ開校セルヲ以テ自後數年ハ毎年開校式モ此ニ行ハレ其他官吏ノ出張諸方ノ會議等モ多ク此ニ行ヒタリ教育ノ進步ニ伴ヒ教場不足スルヲ以テ明治六年柳馬場御池ノ東北舊川越藩邸ヲ買得シ校舍ヲ新築シ同年秋落成九月廿八日新校舍ニ移轉シ十年更ニ講堂及ヒ教場

当時の町衆の心意気

当時の記録資料から抜粋。町衆の心意気がうかがえる。

龍池尋常小学校(明治2年6月起工、11月1日開校)

明治元年十二月本府ハ興學ノ令ヲ發シ圖案ヲ示シ且建築費一組凡八百圓ヲ下附セラル、ヤ本組ハ各自奮勵シ官ノ補助ヲ受ケス組丙有志金ヲ以テ富小路御池片山町ニ新築シ…

柳池尋常小学校(明治2年3月起工、5月21日開校)

明治二年興學ノ趣旨ニ基キ官府ノ下附金ヲ仰カス専ラ區丙有志ノ寄附ニ係ル貳千除金ヲ以テ御池通両替町西へ入龍池町ニ校地ヲ購ヒ同年六月工ヲ起シ十月竣工十一月一日開校式ヲ舉行…。

初音尋常小学校(明治8月17日開校)

明治元年組丙有志者興學ノ旨ヲ奉シ官ノ補助ヲ受ケス自カラ奮ヒテ組丙有志金ヲ以テ高倉通御池上ル柵町東側ニ敷地ヲ購得シ校舍ヲ建築シ二年八月十七日ヲ以テ開校式ヲ舉行セリ十一月資金利殖ノ會社ヲ創立シ以テ學校維持ノ方法ヲ講シ…。

貞教小学校のお宝：小学校会社の金庫

- <http://www.edu.city.kyoto.jp/hp/teikyo-s/newpage13.htm>



2003年11月28日

CAUAシンポジウム2003京都

12

そして現在...

本校の概要

下京第2番組小 (明治22年)	本能小 (昭和22年)	高倉西小 (平成5年)	高倉小 (平成7年4月開校)
下京第3番組小 (明治22年)	明倫小 (昭和22年)		
上京第24番組小 (明治22年)	植興小 (昭和22年)	植興中 (昭和23年)	
上京第25番組小 (明治22年)	初音小 (昭和22年)	初音中 (昭和23年)	
下京第4番組小 (明治22年)	日影小 (昭和22年)		
下京第5番組小 (明治22年)	生祥小 (昭和22年)	高倉東小 (平成5年)	
下京第8番組小 (明治22年)	立誠小 (昭和22年)		

高倉小学校は地元、保護者の方。をはじめ教育関係者の大きな期待がよせられる中、平成7年4月に6校が統合・開校した。平成15年現在、5月現在14学級、380名となった。
本校は統合により、明治22年創立以来、それぞれ124年の歴史と伝統を持つ立誠・生祥・日影・明倫・本能の6校はその基を築き、新たな設備と時代に相応した教育理念をもつ学校に受け継がれた。
高倉小学校はこの統合により、北は明世・三条5通りから南は四条通り、東は鴨川西岸から西は堀川通りという京都市中心部の大きな校区をもつこととなった。
本校に通う児童は、交通量が多く幅の広い河原町や烏丸通りを渡って登下校することになり、交通や安全面で心配されたが、警察や地域の方々のご協力もあり、すぐに慣れ元気に通っている。そして、統合により増えた仲間、交友関係の広がり、広くなった運動場や最新設備の校舎などでの生活を十分に満喫しながら楽しい学校生活を送っている。

『新しいタイプの学校運営の在り方に関する実践研究』

－ 御所南小学校

(文部科学省指定)

<http://www.edu.city.kyoto.jp/hp/goshominami-s/>

－ 高倉小学校 (市独自指定)

<http://www.edu.city.kyoto.jp/hp/takakura-s/>

－ 御池中学校 (市独自指定)

<http://www.edu.city.kyoto.jp/hp/oike-c/>



京都における 教育と遊びへのITの活用事例紹介

- ALAN-Kプロジェクト実践報告
- 街中公衆無線インターネット『みあこネット』と
「みあこネットで遊ぼう！」プロジェクト
– みあこdeマップ



まとめにかえて

- 「教育ネットワークにおける大学の地域貢献」の可能性
 - ITインフラの構築
 - 先端技術の活用支援
 - 地域振興・まちおこしとの連携
 - (広義の)人材育成、人材育成支援
- 京都でのユニークな取り組み
 - 結局は、人と人とのネットワークが鍵
 - 他の地域との連携強化に期待！